

伸 び よ 若 鷹

高城中学校
6月号

第1回学校運営協議会合同会開催

5月29日（木）に本校にて高城小学校・石山小学校・高城中学校の学校運営協議会を合同で実施しました。学校運営協議会は「地域とともにある学校」を推進する有効な仕組みで、「学校の応援団」や「学校経営の参画者」として活動いただいております。各学校ごとの協議で高城中学校は、「学校と地域社会が「Win-Win」な関係にしていくことが大切である」などの意見が出されました。

本年度の委員（8名）の方々をご紹介いたします。

- 新原 明義 委員長（みやこんじょボランティアネットワーク会長）
- 安藤 武 委員（高城神社宮司、都城地区保護司会高城支部長）
- 兒玉 和裕 委員（宮崎県防災士ネットワーク都城支部）
- 宮田 一男 委員（横原「水・土・里」を守る会）
- 上久保 正巳 委員（高城地区自治公民館連絡協議会会长）
- 富永 千代子 委員（観音くらぶ）
- 早川 純子 委員（南九州大学人間発達学部 教授）
- 塩満 寿人 委員（本校PTA会長）

防災・減災講話と地震体験マット「YURETA」を実施しました

6月6日（金）に、本校体育館で総合的な学習の時間の一環として、防災・減災に関する講話と地震体験マット「YURETA」の体験会を実施しました。

講話では、消防団の活動についてのお話がありました。また、宮崎県や都城市で発生しうる地震の被害予測や、被害を軽減するためにできることについて学びました。特に、地震発生時に状況に応じて安全な避難方法を判断することの重要性が強調されました。

6校時には、地震体験マット「YURETA」を使い、震度6強の揺れと、その中の避難方法を体験しました。都城市では最大で震度6強の揺れが予測されており、生徒たちは実際にその揺れを体験することで、体が思うように動かせないことや、地震の恐ろしさ、そして適切な避難方法について深く学ぶことができました。

この体験を通して、生徒たちは防災意識を一層高めることができたようです。

今回は地震について学びました。これからは大雨や台風による災害も大変心配です。近年は毎年のように全国各地で水害による災害が発生しています。これまでには高城地区でも大きな被害がありました。日頃から災害への備えを心掛けてできる準備はしておきたいです。



講話・地震体験マット「YURETA」で震度6強を体験

都城地区中学校総合体育大会 頑張りました

5月29日（木）の水泳競技から6月12日（木）のサッカー・軟式野球競技まで2週間以上にかけて大会が行われました。屋外の競技は雨のため順延が続きました。お互いに同じ条件とはいえ、コンディションづくりが大変だったと思います。

私もできる限り本校生徒の応援をしました。（結果等につきましては、学校HPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。）応援できた競技では、最後の大会となった種目や県大会出場権を得た種目など、それぞれの感動がありました。出場した生徒の皆さんのが味わった気持ちや流した涙は、これから的人生の思い出、また、人生においての財産となることでしょう。県大会に出場できる生徒の皆さんには、「負けたチームの分まで」とは、どういうことなのかを十分に考えて日々努力を重ねてください。都城代表として県大会で思う存分に力を発揮してください。

保護者の皆様におかれましては、これまで生徒たちをサポートして、陰ながら支えていただき本当にありがとうございました。これまでには、いろいろなことがあったと思います。その一つ一つが、いつか必ず生徒たちの力になることを信じて、これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。

地域貢献への取組

5月27日（火）に生徒総会が行われました。協議題の1つは「地域に貢献するためには何ができるだろうか」でした。積極的な意見が多く出て時間が不足しました。全校生徒の地域貢献に対する真剣な思いが伝わってきました。総会後に生徒会執行部が具体的な活動に向けて真剣に取り組んでくれています。

現在の活動予定を紹介します。

- 8月21日（木）全校生徒を対象とした公民館一斉清掃ボランティア
- 8月31日（日）観音池祭りへの参加